

# 第一礼拝次第

説教:渡真利彦文牧師 司会:鈴木秀明執事



前奏			
頌栄	5 4 0	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「愛の海」	〃	
	「Still」		
聖書朗読	エレミヤ書 1:1-13	司会	
祈禱	(旧約聖書 p 1172)		
賛美	2 4	会衆	
メッセージ	「招く神」	牧師	
賛美	新生 6 5 3	会衆	
聖餐式			
献金			
報告		司会	
頌栄	新生 6 7 2 b	会衆	
祝禱		牧師	

## < 卷頭言 >

「みすずのよみがえり」

牧師 渡真利彦文

先週月曜日から水曜日にかけて、全日本私立幼稚園九州地区教師研修大会が福岡で開催され、沖縄から 30 人、全体では 1500 人が参加しました。有意義な学びを終え、一路山口に向かい門司港、下関、萩、長門へと、歴史(高杉晋作・吉田松陰)・文化を訪ねる旅となりました。印象深かったのは「金子みすず記念館」で童謡詩人みすずの短い 28 歳の生涯に触れたことでした。

1983 年 12 月 14 日、朝日新聞に「童謡詩人・金子みすず」の「半世紀ぶりに全作品が見つかり、全集が発行される」という記事が載りました。

作品を見つけ出したのは、若い童謡詩人・矢崎節夫でした。矢崎は学生の頃、岩波文庫『日本童謡集』にたった一編だけのっていたみすずの作品「大漁」に感動し、16 年のあいだ、みすずをさがし続けました。そしてみすずの弟上山雅輔(本名上山正祐)のもとに眠っていた遺稿手帳、手書きの三冊の童謡集に巡りあったのです。この中には、512 編もの作品が収められていました。金子みすずの作品は、一人の若者の感性と情熱によって、現代によみがえりました。

たいりょう

「大漁」

あさやけこやけ  
朝焼小焼だ 大漁だ  
おおばいわし  
大羽 鱈の大漁だ  
はま まつ  
浜は祭りのようだけど  
海のなかでは  
何万の 鱈のとむらいするだろう。



# 第二礼拝次第 (19:00)

説教:渡真利彦文牧師

聖書:マタイ 11:29 (新約聖書 p 21)

メッセージ:「キリストに学ぶ」

プレイズ:「愛の海」 「Still」

讃美:新生 6 新生 3 7 2



# ファミリー礼拝 (9:00)

説教:渡真利彦文牧師

聖書:創世記 6:5-22

メッセージ:「ノアの箱舟造り」